

初期臨床研修プログラム：放射線診断科

コース責任者： 加藤洋

指導医： 加藤洋

コースの位置づけ：必修科として、 0 ヶ月、選択科として 1 ヶ月から

I 一般目標(GIO : General Instructional Objective)

1. 日常診療・救急診療で遭遇する疾患の画像を理解し、適切な検査計画を立案できるようにする。
2. 放射線科的治療である画像下治療（IVR）について、適切にコンサルトできるように、その基本を身につける。

II 行動目標(SBOs : Specific Behavioral Objectives)

1. 人体の横断解剖について述べることができる。
2. Common disease・救急疾患の画像所見を述べるができる。
3. Common disease・救急疾患の検査の指示を適切に出すことができる。
4. 造影剤の副作用、適応や禁忌について述べるができる。
5. IVR 治療にどのようなものがあるかを知り、当科で行われる IVR については適応や禁忌、合併症に関して述べるができる。
6. 放射線科技師や看護師とともにチームの一員として協調できる。

III 学習方略(LS : Learning Strategy)

業務：

1. 読影室にて、CT、MRI を中心とする画像の一次読影を行い、レポートを作成することが中心となる。
2. CT、MRI、核医学検査室にて、現場の診療に参加し、基本的な手技や検査手順を理解する。
3. IVR には主に助手として参画するが、大腿動脈や中心静脈の穿刺に関しては経験してもらう。

その他：研修期間中に経験できる症例は限られているので、common disease の画像所見について記載されている簡単なテキストは通読する。

III 学習評価(Ev :Evaluation)

知識：日常の一時読影レポート

技能：指導医が観察評価

態度：指導医が観察評価

放射線科研修における週間予定

	午前	午後
月	読影	読影
火	読影	読影または IVR
水	読影	読影
木	読影	読影または IVR
金	読影	読影